



平成 26 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 富士古河 E & C 株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 靱井 丈一郎  
 (コード：1775 東証第二部)  
 問合せ先 取締役経営企画本部長 明石 亨  
 (TEL. 044-548-4500)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期の業績予想と実績値との差異  
 および通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 4 月 23 日に公表しました平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同じく平成 26 年 4 月 23 日に公表しました通期業績予想並びに配当予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想と実績値との差異  
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 4 月 23 日)	百万円 27,000	百万円 50	百万円 130	百万円 70	円 銭 1.56
実績値 (B)	28,474	359	521	345	7.69
増減額 (B - A)	1,474	309	391	275	—
増減率 (%)	5.5	618.0	300.8	392.9	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	26,902	312	419	255	5.68

(2) 個別業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 4 月 23 日)	百万円 23,000	百万円 △150	百万円 △30	百万円 10	円 銭 0.22
実績値 (B)	24,473	255	436	315	7.02
増減額 (B - A)	1,473	405	466	305	—
増減率 (%)	6.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	22,413	8	136	120	2.69

## 2. 平成 27 年 3 月期 通期業績予想の修正

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

### (1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 4 月 23 日)	百万円 70,000	百万円 2,600	百万円 2,700	百万円 1,600	円 銭 35.57
今回修正予想 (B)	71,000	2,900	3,000	1,800	40.02
増減額 (B - A)	1,000	300	300	200	—
増減率 (%)	1.4	11.5	11.1	12.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	66,135	2,414	2,635	1,426	31.70

### (2) 個別業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 4 月 23 日)	百万円 60,000	百万円 1,900	百万円 2,080	百万円 1,300	円 銭 28.90
今回修正予想 (B)	61,000	2,300	2,500	1,500	33.35
増減額 (B - A)	1,000	400	420	200	—
増減率 (%)	1.7	21.1	20.2	15.4	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	56,354	1,581	1,905	1,073	23.87

## 3. 差異および修正の理由

### (1) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期業績予想と実績値の差異

当第 2 四半期の個別業績につきましては、受注が好調に推移したことから売上高は増加しました。利益面では、売上高の増加に加え、コストダウンの一層の推進による収益力の向上に努めたことから、営業利益、経常利益並びに四半期純利益はそれぞれ前回発表値を上回る結果となりました。

当第 2 四半期の連結業績につきましては、個別業績が好調に推移したことから、前回発表値を上回る結果となりました。

### (2) 平成 27 年 3 月期通期業績予想の修正

通期の個別業績予想につきましても、当第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益並びに当期純利益とも前回発表値を上回る見込みであるため、連結・個別ともに業績予想を修正いたします。

#### 4. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成26年4月23日)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今回修正予想	—	0.00	—	7.00	7.00
当期実績	—	0.00			
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	—	0.00	—	5.00	5.00

##### 修正の理由

当社は、グループの収益力向上により株主資本の充実を図り、経営基盤を強化し、将来の成長に必要な投資等のための内部留保を確保するとともに、株主の皆様へ利益還元を図ることを基本方針としております。この基本方針のもと、安定的かつ継続的に実施することとし、当期の業績、今後の事業展開へ向けた投資計画および経営環境等を総合的に勘案し、配当金額を決定いたします。

当期の配当金につきましては、中間配当は見送りさせていただきましたが、通期での業績予想を勘案し、1株当たり期末配当金の予想を5円から7円に2円増配いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上